

# 数学オリンピック 財団通信

No.69  
2025年5月15日  
(公財)  
数学オリンピック財団

## ▶▶ 第35回日本数学オリンピック(JMO)開催

第35回日本数学オリンピック (Japan Mathematical Olympiad : JMO) の参加募集は、2024年9月1日より10月25日までの間で行われ、応募総数は5,358名であった。予選は、1月13日 (成人の日) に4,921名が参加して全国71会場で行われ、その結果、207名が本選受験有資格者となった。そして、予選免除者を含めた、209名が2月11日 (建国記念の日) の全国8ヶ所の試験会場でJMO本選に臨み、下記の20名が成績優秀者に選ばれ、このうち18名が、2025年の国際数学オリンピック (IMO) オーストラリア大会の日本代表選手候補選抜のための「代表選考合宿」に招待された。

## 第35回日本数学オリンピック(JMO)受賞者

賞	氏名	所属校	学年	賞	氏名	所属校	学年
川井杯・金賞	狩野 慧志	長野県松本深志高等学校	高2	優秀賞	角谷 賢斗	開成高等学校	高2
金賞	若杉 直音	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	高2	優秀賞	高橋 洋翔	開成高等学校	高2
銀賞	山本 一揮	筑波大学附属駒場高等学校	高1	優秀賞	伊藤 成希	開成高等学校	高1
銅賞	濱川 慎次郎	ラ・サール高等学校	高1	優秀賞	篠原 貴生	聖光学院高等学校	高2
優秀賞	佐々木 俊介	東京都市大学付属高等学校	高2	優秀賞	伊勢戸 皓太	灘中学校	中1
優秀賞	安井 寛人	慶應義塾高等学校	高1	優秀賞	生田 舜一	灘中学校	中2
優秀賞	テルヤス小中涯	慶應義塾高等学校	高1	優秀賞	安藤 匠吾	灘中学校	中3
優秀賞	長谷川 翔大	筑波大学附属駒場高等学校	高1	優秀賞	濱本 祐輔	灘高等学校	高1
優秀賞	旗智 里奈	洛南高等学校附属中学校	中3	優秀賞	安齋 一畝	灘高等学校	高2
優秀賞	鈴木 雄智	筑波大学附属駒場高等学校	高1	優秀賞	野崎 真人	愛光高等学校	高2

(以上20名。同賞内の配列は受験番号順、学年は2025年3月現在。)



川井杯・金賞の狩野慧志さん



金賞の若杉直音さん



銀賞の山本一揮さん



銅賞の濱川慎次郎さん

## ▶▶ 第23回日本ジュニア数学オリンピック (JJMO) 開催

第23回日本ジュニア数学オリンピック (Japan Junior Mathematical Olympiad) の募集期間は、JMOと同じく2024年9月1日から10月25日までで、応募者は3,139名であった。予選は、オンラインでの実施で、1月13日 (成人の日) に2,947名が参加して行われ、103名が予選合格者となった。

このうち、100名が2月11日 (建国記念の日) の全国7ヶ所の試験会場での本選に臨み、下記の10名が成績優秀者として3月20日 (木) の代表選考合宿初日の開校式に表彰された。

なお、JJMO本選の成績優秀者のうち、上位5名がJMOで選抜された18名とともに2025年の国際数学オリンピック (IMO) オーストラリア大会の日本代表選手候補選抜のための「代表選考合宿」に招待された。



金賞の原 龍之介さん

## 第23回日本ジュニア数学オリンピック (JJMO) 受賞者

賞	氏名	所属校	学年	賞	氏名	所属校	学年
金賞	原 龍之介	灘中学校	中3	銅賞	弓気多 珠門	筑波大学附属駒場中学校	中3
銀賞	湯川 寛之	いわき市立内郷第一中学校	中3	銅賞	田中 史弥	東海中学校	中3
銀賞	堀内 遥生	筑波大学附属駒場中学校	中3	銅賞	森 柚稀	聖光学院中学校	中2
銀賞	小田 真史	筑波大学附属駒場中学校	中3	銅賞	山下 璃仁	聖光学院中学校	中2
銀賞	山下 隼人	灘中学校	中3	銅賞	水本 唯央利	灘中学校	中2

(以上10名。同賞内の配列は受験番号順、学年は2025年3月現在。)

## ▶▶ アジア太平洋数学オリンピック (APMO) 第21回国内大会

APMOは、太平洋を囲む国々が参加している数学のコンテストで、今年は第37回目にあたる。試験は、参加各国それぞれを会場として行い、北アメリカ及び南アメリカの国々は、3月第2月曜日の午後に、西太平洋及びアジアの国々は3月第2火曜日の午前実施することになっている。各国は、試験の結果を上位10位まで順位をつけて主催国に報告するとともに、1, 3, 7位の答案のコピーを添付し成績を決定している。今年の主催国はブラジルである。

今年のAPMO第21回国内大会は、3月11日 (火) に東京、大阪の2会場で行われた。その結果、10名のAPMO日本代表選手が選抜された。

## 第37回APMO日本代表選手

氏名	所属校	学年	氏名	所属校	学年
1 狩野 慧志	長野県松本深志高等学校	高2	6 安齋 一畝	灘高等学校	高2
2 鈴木 雄智	筑波大学附属駒場高等学校	高1	7 安藤 匠吾	灘中学校	中3
3 篠原 貴生	聖光学院高等学校	高2	8 濱本 祐輔	灘高等学校	高1
4 濱川 慎次郎	ラ・サール高等学校	高1	9 伊藤 成希	開成高等学校	高1
5 若杉 直音	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	高2	10 原 龍之介	灘中学校	中3

(学年は2025年3月現在、アルファベット順)

## ▶▶ 第66回IMOオーストラリア大会日本代表選手

3月20(木)～24日(月)の5日間で都内ホテルにおいて「代表選考合宿」を実施した。合宿中に行われたコンテストの結果により、第66回IMOオーストラリア大会（本年7月開催予定）日本代表選手候補6名を選出し、4月5日(土)のJCIMOにおいて日本代表選手が下記の通り決定された。

氏名	所属校	学年	氏名	所属校	学年
安藤 匠吾	灘高等学校	高1	狩野 慧志	長野県松本深志高等学校	高3
濱川 慎次郎	ラ・サール高等学校	高2	若杉 直音	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校	高3
伊勢戸 皓太	灘中学校	中2	山本 一揮	筑波大学附属駒場高等学校	高2

(学年は2025年4月現在、アルファベット順)

## ▶▶ 第14回EGMOコソボ大会日本代表選手

2024年11月24日(日)のEGMO一次選抜試験、及び、2025年1月13日(成人の日)のJMO予選の成績により、第14回EGMO (EGMO2025) コソボ大会の日本代表選手が下記の通り決定された。

氏名	所属校	学年	氏名	所属校	学年
旗 智里奈	洛南高等学校	高1	益谷 歩音	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	高2
木村 遙	Darien High School	高2	谷 瞳	久留米大学附設高等学校	高1

(学年は2025年4月現在、アルファベット順)

## ▶▶ 代表選考合宿と日本数学オリンピック(JMO)表彰

日本数学オリンピック (JMO) および日本ジュニア数学オリンピック (JJMO) では、成績優秀者の表彰制度があります。JMOでは、財団で定めた地区割りによって、各地区での応募者の約1割の成績上位者を地区表彰者として表彰しています。

また、JJMOでも、予選合格者をJMOと同様に財団で定めた地区割りによって、各地区での応募者の約1割の成績上位者を地区表彰者として表彰しています。

さらに、JMOでは、本選合格者において、最優秀者には川井杯と金賞を授与し、以下、銀賞、銅賞、優秀賞として、楯やメダルを授与し表彰しています。JJMOにおいても、本選合格者に金賞、銀賞、銅賞としてメダルを授与し表彰しています。

第35回JMOの表彰式は、3月20日(木)代表選考合宿の初日の開校式に合わせて実施しました。



川井杯



JMO表彰式出席者



JJMO表彰式出席者

# ▶▶ 第35回日本数学オリンピックAランク者一覧

氏名	学年	学校名
北山大智	高1	市立札幌開成中等教育学校
七島浩翔	高1	宮城県仙台二華高等学校
保坂智武郎	高1	秋田県立秋田高等学校
岩崎登真	高2	福島県立安積高等学校
佐藤大河	高1	茨城県立並木中等教育学校
畠山昊大	高1	栃木県立宇都宮東高等学校
片岡優	高2	栃木県立大田原高等学校
中田煌河	高2	群馬県立中央中等教育学校
藤井佑成	高2	千葉県立千葉高等学校
井面壮一朗	中3	渋谷教育学園幕張中学校
前川原有羅	高3	埼玉県立不動岡高等学校
小高孝一	高1	筑波大学附属駒場高等学校
小林拓実	高1	明星学園高等学校
前尾慧	高2	筑波大学附属駒場高等学校
会田直樹	高2	筑波大学附属駒場高等学校
小幡朋陽	高1	芝浦工業大学附属高等学校
佐藤壮馬	高2	開成高等学校
矢作玲真	高2	慶應義塾志木高等学校
皆川和輝	高2	筑波大学附属駒場高等学校
花井太嗣	高2	筑波大学附属駒場高等学校
石崎亮成	高1	筑波大学附属駒場高等学校
陳禹橋	高1	筑波大学附属駒場高等学校
佐々木俊介	高2	東京都立大学付属高等学校
神宮康希	高1	筑波大学附属駒場高等学校
安井寛人	高1	慶應義塾高等学校
テルヤス小中涯	高1	慶應義塾高等学校
相澤隆斗	高1	東京都立武蔵高等学校
太田克樹	高2	筑波大学附属駒場高等学校
吉田啓志	高1	筑波大学附属駒場高等学校
井口里紗	高3	早稲田実業学校高等部
鹿野惣太郎	高1	東京都立白鷗高等学校
栃堀十十	高1	慶應義塾志木高等学校
山本一揮	高1	筑波大学附属駒場高等学校
松井智生	高2	筑波大学附属駒場高等学校
中野竜	高1	筑波大学附属駒場高等学校
赤澤佑月	高2	東京都立小石川中等教育学校
長谷川翔大	高1	筑波大学附属駒場高等学校
中島勇大	高2	開成高等学校
朝羽春介	高2	東京工業高等専門学校
岩本滉雅	高2	世田谷学園高等学校
宮内聡輔	中3	筑波大学附属駒場中学校
久保田慎之介	高2	千代田区立九段中等教育学校
山下陽槻	高1	早稲田実業学校高等部
笈敬介	高1	筑波大学附属駒場高等学校
吉井史穂	高1	筑波大学附属駒場高等学校
五十嵐柊司	高1	東京都立小石川中等教育学校
杉本侑翼	高3	近畿大学工業高等専門学校
山岸正治	高1	筑波大学附属駒場高等学校
澤田将英	高1	開成高等学校
村田岳土	高1	サレジオ学院高等学校
鈴木真悠子	高1	桜蔭高等学校

氏名	学年	学校名
長朝日	高2	慶應義塾高等学校
川崎隼人	中3	神奈川県立平塚中等教育学校
小日向律樹	高3	聖光学院高等学校
狩野慧志	高2	長野県松本深志高等学校
齋藤優仁	高1	新潟県立新潟高等学校
鬼頭朋暉	高2	滝高等学校
間宮一貴	高1	東海高等学校
齊藤樹	高2	滝高等学校
梶川隼	高3	豊田工業高等専門学校
杉浦右恭	高1	岐阜県立岐阜高等学校
伊藤晃二	高3	皇學館高等学校
田中達也	高2	東大寺学園高等学校
福田康太	中2	養父市立八鹿青溪中学校
松浦隼人	高2	東大寺学園高等学校
遠山龍之介	高3	洛南高等学校
坂本吉優	高2	東大寺学園高等学校
吉原功生	高2	大阪府立北野高等学校
旗智里奈	中3	洛南高等学校附属中学校
森本湊音	高2	西大和学園高等学校
池田穰	高1	東大寺学園高等学校
保井孝介	高2	N高等学校
松田遼	高2	大阪国際高等学校
奥田廉太郎	高2	灘高等学校
中村太一	高2	洛南高等学校
大西貫太	高2	兵庫県立姫路飾西高等学校
豊永駿平	高2	京都府立城陽高等学校
品川直央	高2	東大寺学園高等学校
山本友陽	高2	広島大学附属福山高等学校
藤原宗玄	高1	岡山県立倉敷天城高等学校
脇真之	高3	山口県立山口高等学校
床田雅弥	高2	香川県立観音寺第一高等学校
村松快栄	高1	土佐高等学校
増田拓朗	高1	福岡県立福岡高等学校
村上颯人	高1	福岡県立筑紫丘高等学校
千島明博	高1	福岡県立小倉西高等学校
渡辺悠平	高1	敬愛高等学校
濱川慎次郎	高1	ラ・サール高等学校
佐藤優灯	高2	茨城県立並木中等教育学校
牧本健	高1	渋谷教育学園幕張高等学校
石塚裕太	高1	渋谷教育学園幕張高等学校
粉川太郎	高2	渋谷教育学園幕張高等学校
松尾洋佑	高2	渋谷教育学園幕張高等学校
福山海斗	高1	昭和学院秀英高等学校
甘蔗秦臥	高2	栄東高等学校
清水陽葵	高1	開智高等学校
宇杉悠志	高2	開成高等学校
塩野博哉	中3	開成中学校
北野聡一朗	中2	開成中学校
馬場温久	高1	開成高等学校
武陽太	高1	開成高等学校
浦上泰輔	中3	開成中学校

氏名	学年	学校名
坂山航大	高2	開成高等学校
角谷賢斗	高2	開成高等学校
高橋洋翔	高2	開成高等学校
伊藤成希	高1	開成高等学校
柿沼瑤大	高2	麻布高等学校
鹿島礼次	高2	麻布高等学校
北村一温	高2	渋谷教育学園渋谷高等学校
細谷祐太郎	高2	早稲田高等学校
氣田歩武	高2	早稲田高等学校
船越輝	高2	早稲田高等学校
太田悠佑	高2	駒場東邦高等学校
矢部耕大	高1	栄光学園高等学校
宇梶颯人	高1	栄光学園高等学校
戒田一浩	高1	栄光学園高等学校
野下晃平	高1	栄光学園高等学校
濱本将太郎	高2	栄光学園高等学校
小山亮太	高1	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校
篠原貴生	高2	聖光学院高等学校
松浦悠人	高2	聖光学院高等学校
三島宏介	高2	聖光学院高等学校
横田志龍	高2	聖光学院高等学校
大石舜太	高1	聖光学院高等学校
榎山大空	高1	聖光学院高等学校
高須悠太	高2	東海高等学校
倉野由基	高2	東海高等学校
安田賢司	高1	東海高等学校
三輪和史	高1	東海高等学校
堀日幸	中3	海陽中等教育学校
稲葉太一	高2	海陽中等教育学校
西田亮太	高2	大阪星光学院高等学校
杉田湧哉	高2	大阪星光学院高等学校
名本陽樹	高1	大阪星光学院高等学校
伊勢戸皓太	中1	灘中学校
生田舜一	中2	灘中学校
田中絆	中3	灘中学校
安藤匠吾	中3	灘中学校
潘登	中3	灘中学校
松島優	中3	灘中学校
北村擢武	中3	灘中学校
濱本祐輔	高1	灘高等学校
中口佳駿	高1	灘高等学校
波多野權	高1	灘高等学校
大友陸	高1	灘高等学校
加持太一	高1	灘高等学校
加野琢雲	高1	灘高等学校
大西慧	高1	灘高等学校
小矢野翔太	高1	灘高等学校
安齋一畝	高2	灘高等学校
梅本一蔵	高2	灘高等学校
大矢那由也	高2	灘高等学校
丸岡亮太	高2	灘高等学校
山口雄大	高2	灘高等学校
五島大碩	高2	灘高等学校

氏名	学年	学校名
小山哲生	高2	灘高等学校
濱田泰成	高2	灘高等学校
朝来龍ノ介	高2	灘高等学校
加藤倫	高2	灘高等学校
田伏玄	高2	灘高等学校
宮村隆仁	高2	灘高等学校
飯田琉依斗	高2	白陵高等学校
小林昌史	高1	岡山県立岡山操山高等学校
森永敦澄	高2	広島大学附属福山高等学校
柳敬太	中3	久留米大学附設中学校
坂本皓	中3	久留米大学附設中学校
谷瞳	中3	久留米大学附設中学校
中山圭史	高1	久留米大学附設高等学校
寺崎颯太	高2	久留米大学附設高等学校
下尾健祐	高2	久留米大学附設高等学校
坂本翔	高2	久留米大学附設高等学校
早稲田直希	高2	北海道札幌南高等学校
白坂柊弥	高2	福島県立福島高等学校
茅野智裕	高1	山形県立山形東高等学校
堀口裕太	高1	群馬県立前橋高等学校
頼金輝人	高2	群馬県立前橋高等学校
奥村泰地	高2	東邦大学付属東邦高等学校
荒金幸希	高2	埼玉県立越谷北高等学校
長澤匠	高2	東京都立立川高等学校
平井海陽	高1	東京科学大学附属科学技術高等学校
大塚悠徳	中2	武蔵中学校
緒方利九	高2	神奈川県立湘南高等学校
市川遙一	高2	福井県立高志高等学校
村松百合香	高2	浜松学芸高等学校
長谷川晃一	高1	静岡県立静岡高等学校
谷水智也	高2	三重県立伊勢高等学校
宇野瑛生	高1	滋賀県立膳所高等学校
奥田晃平	高1	京都市立堀川高等学校
近藤晃翔	高2	京都市立堀川高等学校
日下晴斗	高2	京都市立西京高等学校
松下大輔	高2	京都市立西京高等学校
三好桜人	高1	京都市立西京高等学校
福添哲大	高2	大阪府立大手前高等学校
若杉直音	高2	帝塚山学院泉ヶ丘高等学校
持永虎太郎	高2	大阪府立天王寺高等学校
坂田彰人	高2	甲陽学院高等学校
大澤悠生	高1	甲陽学院高等学校
東久保祐樹	高1	甲陽学院高等学校
松井駿介	高2	奈良女子大学附属中等教育学校
宮尾侑樹	高2	智辯学園和歌山高等学校
岡本悠之	高1	鳥取県立鳥取西高等学校
永居瑠依	高2	愛光高等学校
野崎真人	高2	愛光高等学校
金房堅斗	高1	九州産業大学付属九州産業高等学校
池田蒼生	高2	福岡県立小倉高等学校
村嶋瑛太	高1	長崎県立長崎西高等学校
窪田智仁	高2	熊本県立熊本高等学校

(以上207名、学年は2025年3月現在)

# ▶▶ 第23回日本ジュニア数学オリンピック本選受験有資格者一覧

氏名	学年	学校名
湯川 寛之	中3	いわき市立内郷第一中学校
永重 諒人	中3	筑波大学附属駒場中学校
高子 智大	中3	開成中学校
高橋 凜子	中2	桜蔭中学校
島根 理行	中1	筑波大学附属駒場中学校
渡邊 創右	中2	筑波大学附属駒場中学校
横山 大志	小5	世田谷区立瀬田小学校
石原 怜也	中2	稲城市立稲城第三中学校
青木 智也	中2	筑波大学附属中学校
佐々木 廣大	中2	筑波大学附属中学校
弓気多 珠門	中3	筑波大学附属駒場中学校
松本 政宗	中2	筑波大学附属駒場中学校
西澤 悠矢	中2	世田谷学園中学校
但見 東	中1	筑波大学附属駒場中学校
大川 総太郎	中3	筑波大学附属駒場中学校
三橋 澄大	中3	筑波大学附属駒場中学校
島村 朋季	中2	筑波大学附属駒場中学校
三瓶 秀真	中2	筑波大学附属駒場中学校
堀内 遥生	中3	筑波大学附属駒場中学校
日比野 利之	小6	文京区立窪町小学校
遠藤 悠叡	中3	筑波大学附属駒場中学校
小田 真史	中3	筑波大学附属駒場中学校
佐藤 勇太	中3	筑波大学附属駒場中学校
雨村 桜希	中1	筑波大学附属駒場中学校
黒江 懐吏	小5	横浜市立東戸塚小学校
米花 樹	中2	筑波大学附属駒場中学校
坂田 元明	中3	開成中学校
渡邊 央祐	中1	神奈川県立相模原中等教育学校
上野 貴裕	中3	渋谷教育学園渋谷中学校
南館 志貴	中2	名古屋大学教育学部附属中学校
長谷川 奏	中3	東海中学校
荒島 大知	中3	豊橋市立豊岡中学校
川瀬 遥夢	中1	東海中学校
田中 史弥	中3	東海中学校
太田 景翔	中3	岡崎市立美川中学校
河野 壮真	中3	名古屋大学教育学部附属中学校
城山 颯汰	中2	東大寺学園中学校
岩根 佳悠	中3	東大寺学園中学校
佐藤 怜哉	中3	藤井寺市立道明寺中学校
宗村 悠仁	中3	大阪府立咲くやこの花中学校
辻井 智仁	小6	川西市立川西小学校
三好 泰雅	中3	洛南高等学校附属中学校
小野 勝也	中3	兵庫県立大学附属中学校
浅沼 隆之介	中1	東大寺学園中学校
藤原 蒼介	中3	灘中学校
金子 高明	中2	慶進中学校
石川 巧真	中3	大分大学教育学部附属中学校
小城 陸人	中3	宮崎学園中学校
宮寺 春隆	中2	渋谷教育学園幕張中学校
矢島 沙唯	中3	渋谷教育学園幕張中学校
田代 晴隆	中1	開成中学校
土橋 悠大	中2	開成中学校

氏名	学年	学校名
吉浦 知寿	中3	開成中学校
阿川 凜太郎	中3	開成中学校
上坂 泰希	中3	開成中学校
片岡 優斗	中2	開成中学校
荒川 風葵	中2	開成中学校
田中 隼人	中3	麻布中学校
齋藤 咲実	中3	麻布中学校
蓑輪 漸	中3	渋谷教育学園渋谷中学校
柳 彰太郎	中3	早稲田中学校
増田 慧	中2	本郷中学校
有馬 智己	中3	本郷中学校
池添 聡佑	中3	栄光学園中学校
須古 悠馬	中3	栄光学園中学校
濱中 慶	中3	栄光学園中学校
横尾 祐宜	中3	栄光学園中学校
林 尚太郎	中3	栄光学園中学校
中川 泰明	中3	聖光学院中学校
鎌田 崇志	中2	聖光学院中学校
神木 志門	中2	聖光学院中学校
田邊 大喜	中2	聖光学院中学校
牟田 博喜	中2	聖光学院中学校
森 柚稀	中2	聖光学院中学校
山下 璃仁	中2	聖光学院中学校
徐 浚哲	中1	聖光学院中学校
小林 正宗	中2	駿台甲府中学校
嶋田 康李	中3	福井県立高志中学校
青山 瑛士郎	中3	東海中学校
和田 涼佑	中2	東海中学校
小寺 啓太	中3	大阪星光学院中学校
坂井 建仁	中1	灘中学校
磯田 幸輝	中2	灘中学校
大西 悠矢	中2	灘中学校
村田 幸太郎	中2	灘中学校
長 純平	中2	灘中学校
小山 遼太郎	中2	灘中学校
中村 幸太郎	中2	灘中学校
水本 唯央利	中2	灘中学校
山本 蒼介	中2	灘中学校
林田 真和	中3	灘中学校
伊藤 諒真	中3	灘中学校
山下 隼人	中3	灘中学校
原 龍之介	中3	灘中学校
松山 翔馬	中3	灘中学校
渥美 蒼昂	中3	西大和学園中学校
品田 幹太	中3	市立札幌開成中等教育学校
今枝 駿斗	中2	東京都立小石川中等教育学校
中村 凜太郎	中2	東京都立小石川中等教育学校
一角 芽以	中3	東京都立武蔵高等学校附属中学校
鶴飼 良行	中3	慶應義塾普通部
永嶋 竜士	中3	神奈川県立平塚中等教育学校
岩佐 篤	中3	甲陽学院中学校

(以上103名、学年は2025年3月現在)

# ▶▶ 第14回EGMOコソボ大会

- 1 開催地 コソボ（プリシュティナ）
- 2 日程 4月11日から4月17日  
開会式12日・コンテスト13日・14日  
閉会式16日
- 3 参加国数 55ヶ国・地域（56チーム）
- 4 参加人数 219名
- 5 日本選手の成績

金メダル	簀智里奈	洛南高等学校	高1
銀メダル	木村 遙	Darien High School	高2
銀メダル	谷 瞳	久留米大学附設高等学校	高1
優秀賞	益谷歩音	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	高2

- 6 国別順位 **日本：7位**  
(1 中国 2 アメリカ 3 オーストラリア)

## EGMOコソボ大会 日本選手の声

各選手に、EGMOコソボ大会の感想を書いてもらいました。

- ①コソボ（プリシュティナ）の印象
- ②宿舎について
- ③コンテストについて
- ④外国選手との交流について
- ⑤観光での印象
- ⑥今回のEGMOの全体の感想

### 簀智 里奈 選手

- ①プリシュティナがどんな街なのか、大会前は全く想像がつかなかったけれど、現地に行くとKFCやバーガーキングがたくさん見え、安心感がありました。
- ②ホテルは市内中心部にあり、とてもきれいで快適で、交流用のプレイルームも設けられていました。
- ③コンテストはもともと8時半開始の予定でしたが、Day 1では運営側のトラブルのため、1時間半ほど遅れて始まりました。時計が持ち込み禁止であることと、答案を原則ボールペンで書かなければいけないことに驚きました。お菓子も説明させられたりして、持ち物チェックが厳しかったです。
- ④去年に会った友達が名前を覚えてくれていたり、昨年渡したお土産を使ってくれていたりして、しばらく会えなくてもつながっているのだと嬉しくなりました。大会期間中に、海外の選手にサインを書いてもらったところ、93人分も集まりました。オーストラリアの選手がコアラのマスコットをこっそり他の選手につけていて、いつの間にか、私のパーカーにもかわいいコアラがぶら下がっていました。
- ⑤観光1日目に行ったPrizrenはコソボの歴史的な街で、モスクや赤い屋根の家など、ヨーロッパを感じさせる風景が広がっていました。観光2日目にはショッピングモール

に行き、お土産やアクセサリーをたくさん買いました。自由時間に海外の選手と交流できたのも楽しかったです。⑥今年も日本代表としてEGMOに参加するという貴重な経験をさせていただき、とても嬉しく思っています。コーディネートで、団長団の方々が細部まで粘り強く説明して下さったこと、感謝申し上げます。支えてくださった財団の方々やチューターの方々、コソボのガイドさんたちや日本チームの選手の方々のおかげで、楽しく充実した思い出となりました。本当にありがとうございました。



EGMO人文字



エクスカージョンランチ

## 木村 遙 選手

①会場のまわりは高い建物がなく、空が広がっていて、涼しい風が吹き抜ける心地よさが印象的でした。コソボがどんなところなのか全く想像がついていなかったの、なるほどとなるばかりでした。プリズレンでは、笑顔で挨拶してくれたり、手を振ってくれたりして、とてもフレンドリーな雰囲気でした。

②シャワーのレバーを1ミリ動かすと38度から43度(体感)になること以外快適でした。夕食は最上階で、太陽が街の向こうに沈んでいくのがとても綺麗でした。花火も見ることができました。食べ物はよくわかりませんでしたが、おいしかったです。

③Day 1:最初の3時間、3問をぐるぐる回っていて、どれも解けそうになく、本当に苦しくて苦しくて、焦りに焦っていました。無になってすべて白紙から考え直したら、1番がすぐに解けて、安心はしたものの、すぐ解けてもおかしくない問題だとわかって辛かったです。3番の幾何はギリギリに解けてホッとしました。慣れていない感じの幾何で、自力で自分なりに面白い初等解が見つけれられて嬉しかったです。

ウォークマンがなぜか使えず、英語ができるため「1、2番は悪くない」とか「3番はただの重心座標らしい」といったコメントが耳に入って辛くなり、金ボーダーは33点くらいで今日のこの調子ではないなと勝手に思っていました。

夜は豪華な会場でディナーでした。ものすごく疲れていましたが、最後の方で音楽が流れて、歌ったり踊ったりしているうちに気分も軽くなって楽しい思い出になりました。でもやっぱり、day 2の夜にして欲しかったですね。

Day 2: 4番の幾何は手が震えて定規を固定するのが大変でしたがパッと解けました。5番の組合せは厳しい、まあ部分点とって銀かな、と手だけ動かしていました。途中、シンプルに解けているのでは…?と何度も思いましたが、解答を50ページも書き、全く整理できていませんでした。最終的に「解けた!」で答案を終わらせたのですが、議論がコーナーケースで矛盾することに気づけませんでした。

蓋を開けたら707740で金と2点差、3番も11人しか完答していませんでした。反省点ばかりで、貴重なチャンスを逃してしまって本当に悔しいです。

④海外選手やコソボのガイドさん(高校生の方もいて驚きました)とアニメの話で盛り上がったり、そちらの文化についていろいろ聞いたりして、とても楽しかったです。ずっと夢見ていた初めての国際大会で、試験のことで頭がいっぱいだったり、どうやって楽しめばいいのかわからなかったりもしました。

⑤もっとコソボについて調べておけばよかったと思いました。エクスカーションで行ったプリズレン要塞はとても歴史のある場所で、要塞の天井の石が落ちこちてこないことに感心しました。出発日にTeam Japanのみなさんとお昼を食べに行ったとき、5人前という名の15人前のごはんが出てきて、びっくりしました。

⑥このメンバー9人でEGMO 2025に行けて、本当に本当によかったと思っています。EGMOに携わってくださったすべての方々に、感謝してもきれません。応援してもら

ったり、手を温めてもらったり、励ましてもらったり、電話やメッセージで話を聞いてもらったり…。もちろん、コーデイネーションで点数を取ってきてもらったことも含めて、本当にたくさんの人の支えの上に立たせてもらっているのだと感じました。本当に、ありがとうございます。いっぱい数オリを楽しんで、また来年、リベンジしたいです!

## 谷 瞳 選手

①コソボについて、旧ユーゴスラビア内での最貧国であるということしか知らなかったのが不安ではあったが、とても過ごしやすい場所だった。治安が良く、街も綺麗で、ご飯も全体的に美味しかった。

②二人部屋で、窓からは立ち並ぶ建物の景色を見下ろすことができ、とても綺麗だった。食事はビュッフェ形式で、日本のものとはかなり異なったが、それなりに美味しかった。個人的にはパンのようなものがとても好きだった。

③1日目は問題不備などのトラブルで、約1時間半遅れで開始した。外で待機していたが、適度に寒かったおかげで目が覚めたので結果的には助かった。1日目は、トイレに行けない、時計が見えない等のトラブルがあったが2日目には全て改善されていた。

④LTUのガイドさんや、IRLの選手の一人がとても日本語がうまく、驚いた。正直自分の英語力とコミュニケーション能力故に会話についていけないことも多かったが、日本のアニメや文化が好きという人がとても多く、嬉しかった。

⑤カナダの選手・ガイドさんと共に観光した。目的地までは約2時間のバス移動で、少し酔ってしまった。登った丘からは街を一望することができ、景色が美しかった。昼ごはんはコソボの伝統料理であるパイを食べたが、とても美味しかった。

⑥予想以上に結果が良く、かなり金ボーダーに近い点数で銀メダルを獲得することができてとても嬉しかった。海外の選手との交流や観光を通じて、国ごとの文化等々の違いを肌で感じることができ、世界の広さを実感したと共に、貴重な体験ができたことをとても嬉しく思った。

最後になりますが、財団の方々やチューターの皆さん、選手の方々、そして大会運営に関わってくださった全ての皆さん、本当にありがとうございました。



表彰式

## 益谷 歩音 選手

①あまり聞き慣れない国に行く前は不安でしたが、滞在したプリシュティナは首都だったこともあり、思った以上に都会で快適でした。

②ホテルはとても清潔で不自由なく過ごせました。ホテルの窓からヨーロッパらしい赤い屋根の家が多く見えて見晴らしも良かったです。

③Day 1は定刻より遅れてスタートしました。長時間外で待ち、寒かったので厚着でコンテストを受けていたところ、途中で鼻血が出てしまいました。相当焦ったので、以後厚着のしすぎとチョコレートの食べ過ぎに気をつけました。問題はとても難しく、実力不足を感じました。騒音が気になったという人もいたみたいですが、私は解けない焦りからか全く気になりませんでした。

④英語が苦手なこともあり、序盤は積極的な交流ができなかったのですが、案外拙い英語でも伝わるのが分かり、後半（主にExcursion）では自分から積極的に交流できました。日本から大量に持ってきたお土産のメモ帳も無事渡し切れました。また、何人かの人が日本のアニメが大好きだと話しかけてくれました。今まで海外に行ったことがなく、日本を客観視できる機会が少なかったので、日本について知ってくれている人が多くいて、とても嬉しかったです。

⑤プリズレンは歴史のある都市で、プリシュティナ以上にヨーロッパらしい街並みを感じられました。高台に行くための坂が想像以上に急で、数日間殆ど動いていなかった体にこたえましたが、絶景でとても良い思い出です。また、別日にお土産を買える機会があったのもありがたかったです。

⑥EGMO代表という貴重な経験をさせていただいたことは一生忘れない思い出になると思います。成績はあまり良くなく、全体の足を引っ張ってしまって申し訳ない気持ちもとても大きいです。大会前はなかなか問題が解けず、0点をとってしまうかもしれないと苦しい時も多かったです。その中でも他の代表の方々に刺激をもらったり、通信添削や合宿で粘り方を知ったり、何よりコーディネーションで最大限得点を伸ばしていただいたお陰で自分の実力以上は出せたと思います。また、国際交流や観光の面でもとても充実した1週間になりました。大会に関わった全ての方々に感謝を伝えたいです。



ファイト！

## EGMO 大会役員の感想

### 団長 中村 勇哉

昨年のジョージア大会に引き続き、団長としての参加となりました。

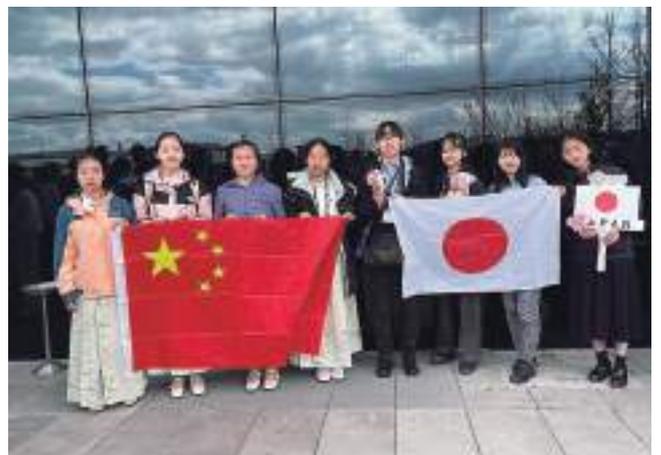
渡航前に、開催国であるコソボは人口の約7割が35歳以下であるということを知り大変驚きました。実際、出会った会場スタッフやタクシードライバーの方々も若い方が多く、街全体に活気が満ちていました。街中の人々もみな親切だったのが印象的でした。コソボは2008年に独立を宣言した比較的新しい国です。「自分たちの世代で国をより良くしていこう」という若い世代の前向きなエネルギーを感じました。このような素晴らしい国でEGMOを開催できたことは、とても意義深いことだと思います。

大会期間を通じて、大小様々な予期せぬトラブルが起りましたが、各国の団長たちは建設的に議論を重ね、より良い大会を目指して協力していたことが印象に残っています。世界の分断が深刻化している今日においても、EGMOの団長たちが大会の目的や理念について考えを共有し、一つの方向に向かって協力していました。その一体感に触れることができたことは、私自身にとっても貴重な経験であり、また心から嬉しく思いました。

日本の選手たちが積極的に国際交流を行っていたことも印象的でした。選手たちにとってEGMOへの参加が良い経験、良い思い出となることを心から願っています。



バングラデシュチームと国際交流



中国チームと国際交流

EGMO2025コソボ大会に副団長として参加させていただきました。

3月下旬の強化合宿ではじめて4人の選手と同行役員が全員揃い、実のスタートを切りました！

また、いつもの日本選手のプレザーのユニフォームに加え、団長の中村さんの発案で日本チームのパーカーも作成していただき既に各人の気持ちは「THE Kosovo」！

さて、コソボのイメージですが、私の世代だと内戦のイメージと隣国セルビアとの厳しい関係が先ず頭に浮かんでしまい、選手はもちろんのこと、チーム全員の安全が心配でした。

しかし、実際のコソボそして開催都市首都プリシュティナはゆったりと時が流れていくような落ち着いたところでした。また、選手や選手側役員のホテルは市の中心部に位置しとても便利で部屋も広く充実していました。コソボといえばマザー・テレサが有名ですが、ホテル近くのテレサ通りにひっそりと彼女の像がたたずんでいました。また、テレサ通りの先には彼女を記念した大きなカテドラルがあり、日曜日は本格的な礼拝が行われており、大勢の市民でうめつくされていました。

話をEGMOに戻しますが、選手はコンテストを控え、各自、食事にも気を遣い、生活リズムもしっかりと管理しており良い意味で緊張が伝わってきました。迎えたコンテスト初日、設営の関係で1時間半遅れのスタートとなった上に筆記用具の変更や持込用品の制限等で選手達にはストレスを増やしてしまった感がありましたが、それでもひとりひとり頑張っってコンテストに臨んでくれました。2日間のコンテストを終了した時の安堵と不安（解答に対して）の各自の表情は毎年のことながらうまく表現できませんが、この時ばかりは、心の奥で「2日間、よく乗り切ったね！」と自然に沸きでてきます。

団長の中村さん、団長側Observerの吉田さんと北山さんは問題の翻訳や採点はもちろんのこと点数確定のコーディネーションにも最後の最後まで粘り強く対応してくださりリスペクトです。生徒側のObserverとして参加して下さった理事長の前田先生も生徒を細やかに気遣っていただき感謝の思いでいっぱいです。

また、現地のSTAFFは親切で傘がないと言えば傘を購入してくれたり会場間の移動もタクシーを手配してくれたり、こちらがスケジュール確認をすれば直ぐに確認してくれストレスを貯めることはなくこれまた感謝の思いです。

結果は、4人それぞれの結果や結果に対する思いは様々です。今はそのそれぞれの思いを大事にしてまた、各自のスタートラインに立ってくれることを願っています。

最後にこのメンバーで臨めたことに心から感謝。そして蔭でささえてくれた保護者の皆様、財団の方々ありがとうございました。

「コソボってどこの国？ 中央アフリカ？ 笑」というのが、渡航前の1週間で一番耳にした言葉です。何もかもに対して失礼な発言だと思いますが、そんなぶっきらぼうな言葉を言われるたびに一抹の不安と高揚感を感じてしまうほどに、未知の土地の未経験のイベントに参加することは心理的に大きな負担と期待感を伴うものです。ロストバゲージが起きたらどうしよう。国旗を忘れたらどうしよう。プリシュティナも「廃墟マニアに人気」な街だったらどうしよう。コソボが本当に中央アフリカの国だったらどうしよう。砂嵐のど真ん中でコーディネーションするのはできれば避けたいなあ……。

そうしてコソボまではるばる持ってきた不安は、極めて良い意味で裏切られることとなりました。大会が行われた首都プリシュティナは、ヨーロッパの多様な建築スタイルが混在する市街地の中に、建設中や新築のビルや高層建築が散在するような街並みの都市で、治安も安定し、インフラ面で困ることはほとんどありませんでした。物価も安いし、何よりホテルが綺麗！ホテルが同じで初日に仲良くなったPSCのDrenがバスの中でコソボについて色々教えてくれたのですが、このDrenをはじめとするコソボの若年層には、自国をよりよい国家へと創り上げる一国民としての自覚が強いように感じました。独立して間もなく、平均年齢が30歳ほどと非常に若い国です。歴史的背景や生活スタイル、文化・宗教の混合的状況に強いシンパシーを感じるとともに、コソボのもつ巨大なポテンシャルとエネルギーが、この国でEGMOが行われた大きな理由の1つであることを確信しました。

その影響ではないと思いますが、コンテストには難化した前年にもましてエネルギーな問題群が用意されました。世界的な選手レベルの上昇に従ってか、ほとんどの問題に難しいステップがあり、今年の代表が若く高3がいらないということもあってコンテスト中は少しそわそわとしました。蓋を開けてみると代表たちはどの問題にも正しく対応できていて、長きにわたる通信添削と強化の甲斐があったかと思いきや心から嬉しい気分です。「あとはコーディネーションで点を持って帰るだけ!!」と意気揚々としていましたが、その時はまだ知る由もなかったのです。Problem 5のコーディネーションが午前3時まで続くことになるとは…。

全体的にすごくしっかりと運営されていた今回のEGMOですが、この傾向はmarking schemeにも反映されていました。点数の付け方がきっぱりと明示・分類されていて、additionalな点数を主張する余地が全然ありません。とりわけ、おなじみのTurbo the snailが登場したP5には‘A1’とよばれる魔の基準が設けられており、この事実を書いていると0点を得られるが、書いていないと2点を失うという恐ろしい内容のものでした。最終的にP5は7点が25人、6点が3人、5点が23人という分布で、A1がいかに大きな被害をもたらしたかが窺えます。各国の団長たちも阿鼻叫喚で、団長側のdiscordサーバーには暇になったP5以外の問題のコーディネーターがA1をネタにした大量のミーム画像を投稿するという事態になっていました。正直に言うところちょっと楽しかったんですが、それで団長側のexcursionが消滅したことはいまだに許していません。プリズレン、行きたかったなあ。

そんなこんなでEGMO 2025は閉会式を迎え、farewell partyで江南スタイルを踊り、熱狂そのままにその幕を閉じました。代表たちには大きなトラブルや体調不良もなく、十分にexcursionやイベントを楽しめたようで安堵するばかりです。そして何よりも、数学が好きな・得意な世界中の女子生徒を大きく包摂することができるコミュニティがそこに存在していたことに、大きな感銘を受けました。コソボという急成長する国家の中で、才気あふれるたくさんの人々が一堂に会して同じ時間を共有したことは、その場にいたすべての人々にとって大きな意味をもつのだと思います。自分の特性や背景とは関係なく、無条件に互いを認めあえる人々が世界のあらゆるところにいるのです。その経験と確信が、これからの社会を生き、みずからの将来像を実現する上での心の拠りどころとなってくれば、僕としてはこの上なく嬉しいことです。

今回のEGMOを実現するにあたり、尽力していただいたすべての人々に感謝を申し上げます。Faleminderit!



役員団(プリシュティナ市内)

## オブザーバー 北山 勇次

コソボあるある：

- 「コソボ」と検索しようとする、サジェストの1番上に「コソボ紛争」と出てきて怖い。
- 「コソボに行く」と知り合いに言うと、「アフリカ？」と言われる。

ということで、出発前から少し不安にさせられる国であった。しかし、到着してみると気温・湿度ともに私の地元である札幌の春と似ていて過ごしやすく、到着したホテルの部屋も綺麗で広くて過ごしやすい部屋で、今後の大会期間が楽しみになるものであった。また、到着後時間があつたのでプリシュティナの街に繰り出してみると、今まさに再開発中という感じで、至る所で古い施設を壊して新しい施設を建設する真っ最中であり、若くて気さくで親切な人が多くとても活気があつた。

翌日、午前中の開会式が終わると、我々団長団は会議のために生徒とは別れて会場のホテルに向かった。他国の団長団は女性の割合がかなり高く、日本からも早く継続して女性を団長団として派遣できるようにならなければいけないと感じた。ところで、会議で大会側から提示された問題たちからは、綺麗な解法の問題を選ぶという大会側のモチベーションを感じ、数オリのファンの1人としては楽し

い問題たちであった。ただ、それはそうとして綺麗な問題というのは往々にして難しいもので、6問の組としては過去1番レベルに難しい組であったので、団長団の1人としては生徒たちのことが心配になった。

しかし、そんな私の心配とは裏腹に、翌日・翌々日の試験の後に届いた生徒たちの答えは個人的な想定を大きく上回る出来で、特に問題3は全体で満点が11名しか出ない幾何の難問であったが、その11名のうち2名が日本選手であった。また、問題3のコーディネーションでは、その2名のうち1名の答えが長大でアクロバティックなものであったため、大会側のコーディネーターは始め（日本語が読めないこともあってだろうが）満点だとは思っていなかったようだったが、我々の説明をすごく楽しそうに反応しながら聞いてくれ、最初は怪訝そうな顔だったのが、1時間近い説明の最後にはお互い笑顔で満点の合意をできたのが非常に印象的だった。

最終的な結果としては、日本チームの国際順位は7位と過去最高の結果であった。通信添削や強化合宿で彼女らの強化に関わり、一緒にコソボに行った身として、彼女らの努力の成果が十分に発揮されたこの結果は非常に嬉しいものであり、同時に今まで彼女らに関わることができたことを誇らしく思う。改めて、みんなおめでとう。

最後に、本来コソボには吉田さんをはじめとする4年生の誰かが行くはずだったので、3年生である私はコソボに行く半年前の時点では全くもってコソボに派遣されるとは思っていなかったのだが、いろいろな都合が重なって一つ上の学年の吉田さんとともにコソボに派遣されることとなった。その際、きっとイレギュラーな状況だったにも関わらず私に信頼していると言って仕事を任せてくださった財団の方々、主に年明けの頃から約3ヶ月の間年下で何かと抜けのある私とともに仕事をしてくださった吉田さん、本当にありがとうございました。



日本代表団

### 第14回EGMO 2025コソボ大会 日本代表団の役員

- ◎団長 中村 勇哉 名古屋大学大学院准教授・JCIMO
- ◎副団長 田崎 慶子 数学オリンピック財団 事務局長
- ◎オブザーバー
- 前田 吉昭 数学オリンピック財団 理事長
- 吉田 智紀 京都大学医学部医学科
- 北山 勇次 京都大学理学部

# ▶▶ 2025年度 JMO・JGMO・JJMO大会



2025年度から予選日程などが変更になります。申し込み開始は7月1日からです。  
詳細については、数学オリンピック財団ホームページ (<https://www.imojp.org/>) でご確認ください。

## 第36回日本数学オリンピック(JMO)開催予定

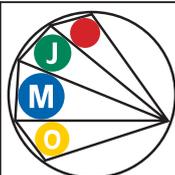
試験日時：(予選) 2025年11月16日(日) 午後1時～4時  
(本選) 2026年2月11日(水：建国記念の日) 午後1時～5時  
試験会場：全国主要都市(予選：各県1ヶ所以上を予定) 募集要項参照  
応募資格：2025年11月時点で、大学教育(またはそれに相当する教育)を受けていない20歳未満の者。  
ただし、IMO代表資格は、IMO大会時点で高校生以下の者。  
試験内容：前提とする知識は、世界各国の高校程度で、整数問題、幾何、組合せ、式変形等の問題が題材となります。  
(微積分、確率統計、行列は範囲外です。)  
受験料：4,000円(納付された受験料は返還されません) 学校一括申込割引制度有  
個人にはシステム利用料、学校一括には振込手数料が別途かかります。

## 第1回日本女子数学オリンピック(JGMO)開催予定

試験日時：(予選) 2025年11月16日(日) 午後1時～4時(JMO予選と共通)  
(本選) 2026年1月12日(月：成人の日) 午後1時～5時  
試験会場：全国主要都市(予選：各県1ヶ所以上を予定) 募集要項参照  
応募資格：2025年11月時点で、大学教育(またはそれに相当する教育)を受けていない20歳未満の者。  
ただし、本選出場資格は、本選出場時点で高校2年生以下の者。  
試験内容：前提とする知識は、世界各国の高校程度で、整数問題、幾何、組合せ、式変形等の問題が題材となります。  
(微積分、確率統計、行列は範囲外です。) 予選問題はJMOと同じです。  
申込：JMOにご応募ください。JMOに応募した女性はJGMOに自動的にエントリーされます。

## 第24回日本ジュニア数学オリンピック(JJMO)開催予定

試験日時：(予選) 2025年11月16日(日) 午後1時～4時  
(本選) 2026年2月11日(水：建国記念の日) 午後1時～5時  
試験会場：予選：オンライン 本選：全国主要都市 募集要項参照  
応募資格：2025年11月時点で、中学3年生以下の者。  
試験内容：前提とする知識は、世界各国の中学校程度で、数の問題、図形の問題、ゲーム、組み合わせ的問題などです。  
学校で日常学習する内容と多少異なる問題も題材となります。  
受験料：3,000円(納付された受験料は返還されません) 学校一括申込割引制度有  
個人にはシステム利用料、学校一括には振込手数料が別途かかります。



# 数学オリンピック財団通信

No.69 2025年5月15日発行

■編集・発行  
公益財団法人 数学オリンピック財団  
〒160-0022  
東京都新宿区新宿7-26-37-2D  
TEL 03-5272-9790  
FAX 03-5272-9791  
URL <https://www.imojp.org/>